

マルバチシャノキ

Ehretia dikesonii Hance
var. *japonica* Nakai

ムラサキ科
Boraginaceae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 掲載なし

選定理由 分布域は狭く、本県の生育地は海岸崖地にごく希で、個体数も僅少。道路沿いでは枝が切り払われたことがあり、絶滅の危険性は極めて高い。

県内分布 豊後水道域

分布域 本州(千葉県以西) 四国 九州(大分・宮崎・鹿児島) 沖縄
台湾 中国

生育環境 海岸の林内。

現 状 「豊後水道域」の道路沿いの海岸低木林内に、ごく少数が生育している。一部はクスなどが巻きあがって衰退している。

ムラサキ

Lithospermum erythrorhizon
Sieb. et Zucc.

ムラサキ科
Boraginaceae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 IB

選定理由

県内分布 (玖珠丘陵地・山地)、由布・鶴見火山群、(大分川・大野川丘陵地)、(豊後水道後背地域)

分布域 北海道 本州 四国 九州(福岡・大分・鹿児島)
朝鮮半島 中国・中国(東北部) アムール

生育環境 丘陵地や低山地のやや乾いた草地。

現 状 「由布・鶴見火山群」では1990年まで生育していたことが確認されている。その他の地域での標本や記録はあるが、その生育地は把握されていない。

備 考 国立公園指定植物 [瀬戸内海]

トサムラサキ

Callicarpa shikokiana Makino

クマツツラ科
Verbenaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 II

選定理由 県内での分布は局限し、個体数も極めて少ない。生育地は、いずれも林道沿いのものが多く、道路工事や伐採などで、その減少や消滅が懸念される。

県内分布 豊後水道後背地域

分布域 四国 九州(大分・鹿児島)

生育環境 丘陵地の林縁や林内。

現 状 林道沿いの林縁に生育していたもので、伐採され消滅した所がある。